

鳥 渡 る

染谷秀雄

母の忌の遠き日月くくし

釣忍ざぶと沈めて吊しけり

石組みの汀に沿ひて式部の実
飛石をまはる曬れの水澄みて

山口にて六句

萩叢の雨を纏ひて零れけり
石風呂に雨止めば急昼の虫り刷毛雲の一塊となる秋涼渡しる
力ルストの大草原を鳥渡しる

脈々と周防の台地鳥渡る